



浦小通信

知内町立浦元小学校
～重点教育目標～
主体的・対話的に学び、
自らを磨き、高め合う子
平成31年2月28日発行

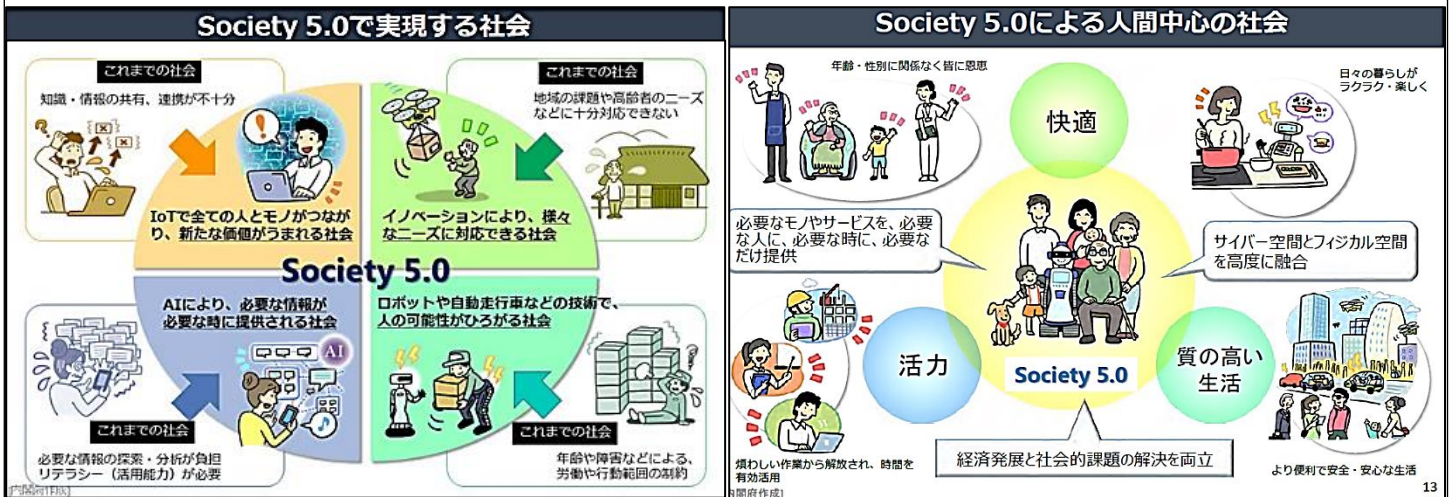
20XX年、子どもたちの生きる社会は、明るい！？

～ 内閣が提唱；ソサエティー5.0 (society 5.0) をご存じですか ～

校長 三上 幸喜

全国的なインフルエンザの流行が知内町にも見られ、本校でも感染が心配されましたが、校内での感染予防策と家庭での生活習慣の指導のお陰で、現在まで児童の罹患がありませんでした。また、子どもたちは、冬から春への季節の変化を日々感じながら、徒歩で元気に登校しています。ありがとうございます。

さて、皆さんは内閣が提唱している『ソサエティー5.0 (Society5.0)』をご存じでしょうか。最近、様々な研修会の資料の中に記載されている用語です。教育の世界においても、ソサエティー5.0を意識しながら学校経営にあたるのが重要であると言われています。(Societyとは「社会」という意味です。)



【ソサエティー5.0とは】

- <ソサエティー1.0・・・狩猟社会>
- <ソサエティー2.0・・・農耕社会>
- <ソサエティー3.0・・・工業社会>
- <ソサエティー4.0・・・情報社会>
- <ソサエティー5.0>**

・・・サイバー空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会課題の解決を両立する人間中心の社会。

内閣府 HP より https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html

現に、私たちの社会においてもソサエティー5.0に向けての社会の変化を感じる出来事が起きて始めています。

- ◎IoT (Internet of Things) で全ての人とモノが繋がる。
CMで放映されている「アレク〇〇して…」です。インターネットだけでなく、家電製品と繋がっています。
- ◎人間の労働の負担を軽減するアシストスーツの導入
先日、羽田空港が手荷物の積み込みの負担を軽減するためにパワーアシストスーツの導入が決定されました。

◎農業の高齢化や人手不足を解決するスマート農業
ドラマ『下町ロケット＝ヤタガラス編』で取り上げられた、GPSとAIを組み合わせたトラクターの自動運転システムなどです。この他に、人工衛星やドローンを活用した農業の取り組みが始まっています。

【ソサエティー5.0における 学校 ver.3.0 (学びの時代)】

<求められる人材＝人間の強みを発揮> [文部科学省]
…現実世界を理解し意味づけできる感性、倫理観、板挟みや想定外と向き合い調整する力、責任をもって遂行する力。

<求められる力>

- ① 文章や情報を正確に読み解き、対話する力
- ② 科学的に思考・吟味し、活用する力
- ③ 価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探究力

子どもたちが生きる20XX年に、これらの社会が現実となったとき、人間の強みを発揮し、生き抜くことができるように教育活動を進めなければなりません。

そのために、今、取り組むべきことは何か、身に付けさせるべき力は何かをしっかりと意識して、指導にあたってまいります。